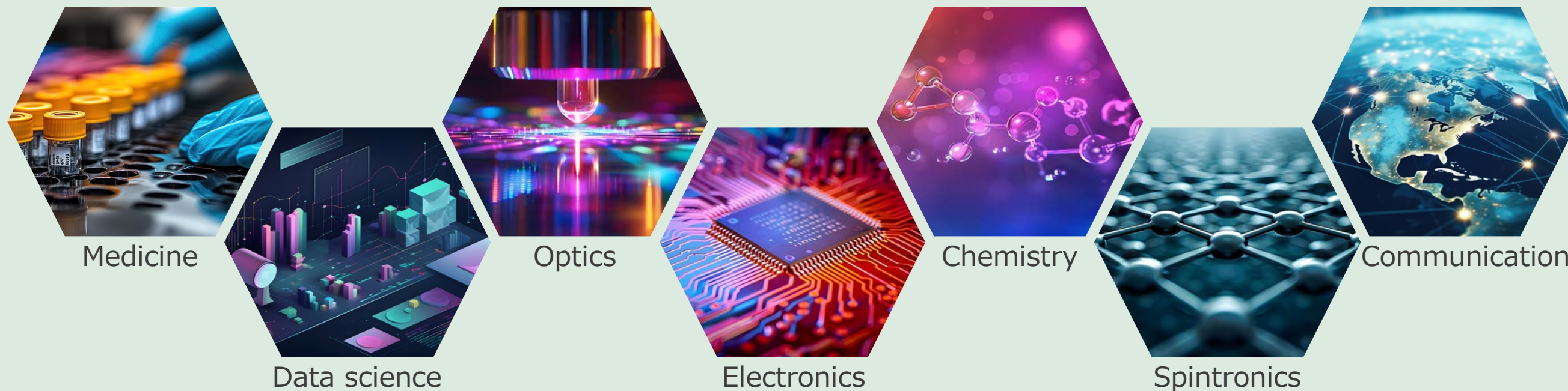


研究ユニット紹介：量子最適化研究創発センター

- 量子情報理論に加え、物理学、化学、計算力学などの様々な基盤学問に基づく量子最適化の手法構築から応用研究まで一貫通貫に進める創発的な拠点です。
- 量子未来社会を目指す上で重要なキーテクノロジーである、量子コンピューティング技術に基づく**最適化手法（量子最適化）の社会実装**を目指して研究に取り組んでいます。
- ユニット長は、地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）において必要不可欠な社会実装の研究拠点である、**世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）におけるBio2Qの副拠点長**、ならびに、**共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）におけるサステイナブル量子AI研究拠点の慶應義塾大学研究開発責任者**を務めています。そのため、これらとの連携についても積極的に進めることが可能です。

ユニット参加メンバー：（ユニット長）田中 宗、（副ユニット長）武岡 正裕、畑中 美穂、村松 真由
（特任教員）渡邊 日出雄、関 優也、Roga Wojciech、菊池 脩太
（大学院生）服部 智大、阿部 哲郎、池内 一樹、高橋 敬大、中野 檀、小川 涼、岡部 理子



WPI Research Center
Keio University
Bio2Q Human Biology
Microbiome Quantum
Research Center

5Q AI
サステイナブル量子AI研究拠点

量子最適化研究創発センターの研究開発